我が家の末っ子「くーちゃん」

富山市民病院　　真田　かおり

我が家には、2023年12月31日生まれの末っ子BOY、カニンヘンダックスフンドがいます。
名前はよく食べることから名付けた「くう」です。

ダックスフンドは体の大きさから、3種類に分類されるそうです。
3．5kg以下の超小型犬の「カニンヘン・ダックスフンド」
3～5kgの小型犬の「ミニチュア・ダックスフンド」
9～12kgの「スタンダード・ダックスフンド」です。
さて、我が家のくーちゃんは現在6．5kg。　　……カニンヘンだったはずでは！？（笑）

くーちゃんの父・母はともに3kg未満。くーちゃんもどちらかというと、痩せ型なのですが、とにかく長い。
ぐんぐん成長し、1歳になる頃には6kgを超えていました。
人間なら高身長・細身のモデル体型といったところでしょうか。

楽に抱っこして連れて歩ける夢は早々に散りましたが、元気に走り回る姿はとても逞しいです。
そんなくーちゃんは2歳になった頃から、とても賢くなりました。

私がご飯の準備をしていると、邪魔をしないように少し離れたところでじーっと私を目で追っています。
洗濯物を干す時には洗濯カゴの音を聞きつけて一緒に！と走ってきます。
朝、出かける様子に気づくと、おやつをもらうために勝手に「ハウス」（自分の家）へ戻ります。
まだ遊びたい時は「ハウス」の言葉が聞こえていても聞こえないふりをしたりします。
ご飯前の、「おすわり」「お手」「おかわり」「伏せ」は仕方なしに「やっておきますか」という感じでこなしてきます。ところが、大好きなおやつの時は、すごいスピードでやってみせます。
「ダメ！」と言われればピタッと動きを止め、お得意の上目遣いで可愛さアピール。

どうすれば自分が可愛く見えるのか、ちゃんとわかっているようです。

そんな我が家のくーちゃん。
カニンヘンとして我が家にやってきたはずが、気づけば6．5kg。

身体も態度も、すっかり我が家の末っ子らしく成長しています。




